

SEA-0810

# 環境活動レポート 2015

(運用期間：2015年8月～2016年7月)

2016年10月31日 作成

株式会社スリーピングサービス

# 目 次

1. 会社の概要
2. 事業内容
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 2016年度環境活動計画
6. 環境活動計画の取組結果とその評価
7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果
9. 施設等の状況
  - (1) 収集運搬車両の状況
  - (2) 積替え保管施設の面積と保管上限量
  - (3) 処理施設の種類等
  - (4) 処理工程図
  - (5) 処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)
10. 地域貢献活動の今

# 1. 会社の概要

【会社名】 株式会社スイーピングサービス

【代表者】 代表取締役 田邊 昌志

【設立】 1973年(昭和48年)7月20日

【資本金】 3,000万円

【売上高】 554,437千円(2016年7月期)

【従業員数】 40名

## 【事業所、敷地面積】

- (a) 本社 東京都あきる野市瀬戸岡360番地1  
298㎡ TEL. 042-597-6112
- (b) 日の出事業所 東京都西多摩郡日の出町平井15番地10  
801㎡ TEL. 042-597-6111
- (c) 立川支店 東京都立川市曙町2丁目2番22号プラウドタワー立川1701号  
55㎡ TEL. 042-527-2066
- (d) 南多摩支店 東京都稲城市東長沼1735番地7エクセル稲城104号  
17㎡ TEL. 042-370-0068
- (e) 武蔵野支店 東京都西東京市芝久保町3丁目15番24号メゾン芝久保103号  
13㎡ TEL. 042-452-0232
- (f) 汚泥処理施設 東京都西多摩郡日の出町平井26番地1  
3,544㎡ TEL. 042-597-6112

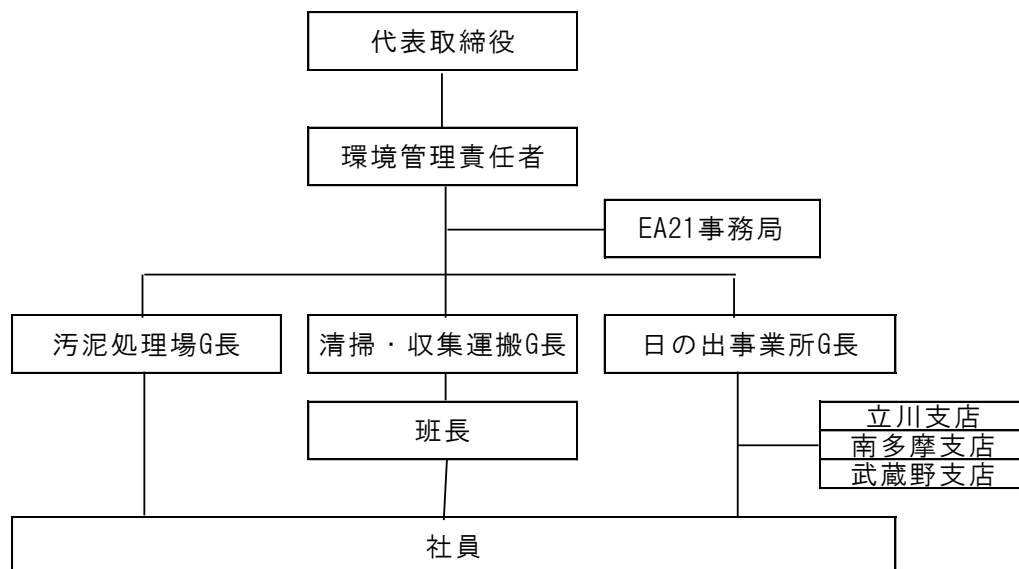
## 【エコアクション21対象事業所】

全社

## 【環境管理責任者及び事務局】

環境管理責任者 取締役 小林 秀次  
事務局 取締役 土方 清孝  
TEL. 042-597-6111 FAX. 042-597-6115

## 【組織図】



## 2. 事業内容

- 【事業内容】 (1) 廃棄物処分業務（汚泥処理）  
 産業廃棄物の収集・運搬（積替え保管含む）、中間処理  
 一般廃棄物の収集・運搬  
 (2) 清掃・維持管理業務  
 道路公園、建物、路面、貯水槽、浄化槽、管渠、厨房、  
 グリストラップ、清掃下水道管漏水・TVカメラ調査、  
 処理施設の保守管理

### 【優良性基準適合認定】

認定の区分	産廃プロフェッショナル	
業の区分	収集運搬業（積替え保管含む）	中間処理業
認定番号	2-15-B0085	2-15-C0080
有効期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	

### 【許可の内容】

<産業廃棄物収集運搬業>					許可品目										
No	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器	鉱さい	がれき類
1	東京都	13-10-005352	平成26年2月1日	平成31年1月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	神奈川県	01400005352	平成24年8月22日	平成29年8月21日		●	●	●	●	●	●	●	●		●
3	埼玉県	01101005352	平成26年10月27日	平成31年8月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	千葉県	01200005352	平成24年11月21日	平成29年11月20日		●	●	●	●	●	●	●	●		●
5	山梨県	01900005352	平成25年10月23日	平成30年10月22日		●		●	●	●	●	●	●		●
<産業廃棄物処分業>															
6	東京都	13-20-005352	平成28年7月23日	平成33年7月22日		●									
<一般廃棄物収集運搬業>					許可品目										
7	福生市	指令福生環発第5号-14	平成28年4月1日	平成30年3月31日	事業系一般廃棄物										
8	瑞穂町	瑞住生許可第12-3号	平成28年9月20日	平成30年9月19日	缶・ビン・紙くず・木くず										
9	青梅市	許可収・運第68号	平成28年10月1日	平成30年9月30日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）										
10	檜原村	28許可第1号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	道路の清掃により発生する廃棄物										
11	羽村市	許可一廃収第31号	平成28年9月26日	平成30年9月25日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）										
12	日の出町	27日生第12679号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	浄化槽汚泥										
13	あきる野市	あ環生収第292号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	浄化槽汚泥、道路・公園及び河川の清掃により発生する廃棄物										
14	奥多摩町	第3号	平成28年10月29日	平成30年10月28日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）										
<建築物飲料貯水槽清掃業登録証明書>					備考										
15	東京都	9貯第1429号	平成24年4月10日	平成30年4月9日											
<建設業許可>					業の区分										
16	東京都	東京都知事許可（般-28）第115850号	平成28年8月15日	平成33年8月14日	土木工事業、とび・土工工事業、管工事業、造園工事業、水道施設工事業、解体工事業										
<浄化槽保守点検業者登録通知書>					備考										
17	東京都	浄保（8）第230号	平成25年2月25日	平成30年2月24日											
18	八王子市	八浄保第19-9号	平成25年2月25日	平成30年2月24日											
<浄化槽清掃業許可証>					備考										
19	あきる野市	あ環環収第291号	平成28年4月1日	平成30年3月31日											
20	日の出町	27日生第12675号	平成28年4月1日	平成29年3月31日											

### 3. 環境方針

## 環 境 方 針

### <基本理念>

株式会社スリーピングサービスは、産業廃棄物収集運搬・中間処理業を通じて地域社会に快適な生活環境を創造し、汚泥処理の分野で「環境に貢献する企業」を目指します。

### <行動指針>

1. 環境負荷の継続的改善  
エコアクション21を積極的に運用し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 法令遵守  
当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します。
3. 環境活動への取組み  
当社の事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取組みます。
  - (1) 環境負荷の削減  
省エネルギー・省資源
  - (2) 環境取組の推進・向上  
グリーン購入の推進  
環境美化の推進  
リサイクルの推進
4. 実施態勢の確立と環境教育  
エコアクション21の機能を効果的・効率的に推進していくために、社内の実施態勢を確立し全社員への環境教育に努めます。
5. 環境目標の設定  
この環境方針を達成するために、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

制定 2014年1月1日

株式会社スリーピングサービス

代表取締役 田邊 昌志

#### 4. 環境目標

施策	項目	区分	単位		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度			2016年度 目標	中期目標 (2013年度作成)					
					基準年	実績	実績	目標	実績	評価		2014年度	2015年度	2016年度			
1. 環境負荷の削減	1.1省エネルギー・省資源	二酸化炭素排出量削減(*)	kg-CO2		基準年比	217,562	218,604	245,941	243,483	231,024	×	228,715	215,386	214,041	212,696		
						100	100.5%	113.0%	111.9%	106.2%			114.2%	107.9%	-		
					2015年度目標比			100.0	94.9%	○	×		×	-			
		軽油燃料消費量削減	清掃・収集運搬G	g			基準年比	63,331	63,253	72,974	72,245	68,432	×	67,748	62,698	62,381	62,064
								100	99.9%	115.2%	114.1%	108.1%			116.4%	109.7%	-
							2015年度目標比			100.0	94.7%	○	×		×	-	
		電力使用量削減	日の出事業所G	KWh			基準年比	-	-	-	41,667	39,522	-	39,127	-	-	-
								-	-	-	-	-			-	-	-
							2015年度目標比			100.0	94.9%	○	-		-	-	
		電力使用量削減	汚泥処理場G	KWh			基準年比	-	-	-	74,471	71,329	-	70,616	-	-	-
	-						-	-	-	-		-	-		-		
2015年度目標比							100.0	95.8%	○	-	-	-					
計	計	KWh			基準年比	110,691	113,377	117,312	116,138	110,851	×	109,743	109,584	108,477	107,370		
						100	102.4%	106.0%	104.9%	100.1%			107.1%	102.2%	-		
					2015年度目標比			100.0	95.4%	○	×		×	-			
上水使用量削減	汚泥処理場G	m <sup>3</sup>			基準年比	3,302	2,027	2,348	2,346	1,832	○	1,814	3,005	2,972	2,939		
						100	61.4%	71.1%	71.0%	55.5%			78.1%	61.6%	-		
					2015年度目標比			100.0	78.1%	○	○		○	-			
1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	全社	kg		基準年比 (2013.10調査:108t)	-	617	605	599	1,003	-	599	609	603	597		
						-	-	-	-	-			99.3%	166.3%	-		
					2015年度目標比			100.0	167.4%	×	○		×	-			
2. 環境取組の推進・向上	2.1グリーン購入の推進	グリーン購入率の向上(金額)	全社	%	基準年比	18.0	18.0	38.3	20.0	24.7	○	25%	25.0	30.0	35.0		
						100	100.0%	212.8%	111.1%	137.2%			153.2%	82.3%	-		
					2015年度目標比			100.0	123.5%	○	○		×	-			
	2.2受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進	汚泥処理場G	-		-	選別向上策の立案	処理方法決定	持出量削減策の検討	基本設計の決定	○	処理設備の実施設計及び設置	-	-	-		
	2.3環境美化の推進	生活環境影響評価(騒音・臭気)	汚泥処理場G	-		-	2013.6から実施	各月実施	測定実施と規制値内の確認	各月実施	○	各月実施	騒音測定継続				
	2.4 全従業員の参加	地域貢献活動	全社	-		-	実施	年11回実施	地域清掃の実施	年12回実施	○	各月実施	地域清掃継続				
2.4 全従業員の参加	教育・説明会	全社	-		-	実施	2014.10活動計画の説明	自らの役割と責任の自覚	2016.4活動計画の中間報告開催	○	教育・説明会開催	教育・説明会継続					

(\*)：二酸化炭素の排出係数は、東京電力の2011年度排出係数0.464kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した

## 5. 2016年度 環境活動計画

### <環境活動方針>

1.社員ひとり一人が参画意識を持ち、活動計画を実行し、環境活動に積極的に取り組むこと。

活動計画は前年と同じとなるが、繰り返し行うことで自分の行動の中に自然に組み込まれていくことを期待する。

2.活動にあたっては「PDCAサイクル」を回すこと。

【P:計画の策定】				【D:計画の実施】	
活動項目		目的	目標値	担当部門	実施方法 (詳細は個別活動計画参照)
1. 環境負荷の削減	1.1省エネルギー・省資源	軽油燃料消費量削減	67,748L 前年実績比1%削減	清掃・収集運搬G	1)エコドライブ推進、エコ講習参加 2)暖気運転の短縮・中止 3)新指標「燃費」管理の試行(特定車両を対象)
		電力使用量削減	39,127KWh 前年実績比1%削減	日の出事業所G	1)事務室・食堂の空調温度の管理 2)室内の照明→昼休み消灯、倉庫は使用時のみ 3)1F受付の自然光利用
			70,616KWh 前年実績比1%削減	汚泥処理場G	1)設備の作業前試運転時間の標準化 2)管理事務室の空調温度の設定 3)管理事務室消灯チェック確認表への記入
	上水使用量削減	1,814m <sup>3</sup> 前年実績比1%削減	汚泥処理場G	1)再生水汲み上げポンプの定期点検 2)洗車時間を守る 3)節水コマ、節水パッドの点検	
	1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	599kg 前年実績比40.3%削減	全社	1)再生紙コピー紙の裏紙利用推進 *目標値は前前年と同じとした(前年は処理場事務所の新設あり)
		産業廃棄物削減	リサイクル促進	全社	1)発生時リサイクルの徹底
2. 環境取組の推進・向上	2.1グリーン購入の推進	グリーン購入比率の向上 (金額ベース)	25.0%	全社	1)購入時のエコ商品検索
	2.2受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進 (持出量の削減)	処理設備の 実施設計及び設置	全社	1)関係先との協議、届出等
	2.3環境美化の推進	生活環境影響評価 (規制値内の確認)	騒音、臭気測定の実施	汚泥処理場G	1)毎月測定実施
		地域貢献活動	地域清掃の実施	全社	1)毎月地域清掃の実施
	2.4 全従業員の参加	自らの役割及び責任の自覚	教育・説明会の開催	全社	1)環境活動方針の周知

### 【PDCAサイクル】

#### P:計画の策定 (Plan)

活動方針を踏まえ、活動項目、目的、担当部門、実施方法、その時期を決めること(責任者)  
活動計画を全社員に周知する(環境管理責任者)

#### D:計画の実施 (Do)

実施方法=個別活動計画・進捗管理表の「具体的施策」を実行すること(社員全員)

#### C:取組状況の確認及び評価 (Check)

毎月初に前月の進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する(責任者)  
3ヶ月毎に進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する(環境管理責任者)

#### A:全体の評価と見直し (Action)

前月及び今後の取組み状況が未達の場合、「具体的施策」を見直す(責任者、環境管理責任者)

## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価と2016年度の取り組み

### (1) 軽油燃料消費量の削減

- ・ 1年ぶりに目標値を下回る(94.7%)ことが出来ました。これは前年オーバーの要因となった路面清掃業務が半分の規模となったことも影響していますが、エコドライブ講習を通じた作業員の意識の向上も寄与しています。
- ・ エコドライブ講習の受講割合は累計で51.8%となり、受講対象者の半分以上となりました。今後も継続的に計画し、全員の受講を目指します。
- ・ 業務の変動を受けにくい指標づくりを検討しました。車両を特定し、燃費を新指標とした管理を試行します。目標値は過去二年間の平均値4.5km/Lとします。

### (2) 電力使用量の削減

- ・ 2015年度から日の出事業所Gと汚泥処理場Gの二つに分けて活動を行い、両Gとも目標値を下回りました(94.9%、95.8%)。合計値も95.4%、110,851KWhと基準年とした2012年とほぼ同様の水準に戻りました。
- ・ 2013年5月の新社屋の完成に伴うエアコン増や処理施設の照明機器増等により電力使用量は増加していましたが、両グループともに身近な誰でも出来る施策を活動項目として取り上げ、継続することでその成果が表れてきました。

### (3) 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 軽油燃料、電力ともに目標値を下回ったため、二酸化炭素排出量は目標値を5%強(94.9%)下回ることが出来ました。

### (4) 上水使用量の削減

- ・ 目標値を大幅に下回りました(78.1%)。
- ・ 電力と同様に身近な誰でも出来る施策を活動項目として取り上げ、継続することでその成果が表れてきました。
- ・ 唯一中期計画を2年連続して下回り、削減が順調に進んでいます。2015年度は中期計画比61.6%と基準年に比べ約6割まで削減が進みました。

### (5) 一般廃棄物の削減

- ・ 当活動項目は目標値を大幅に上回りました(1,003kg、167.4%)。
- ・ これは2016年2月の処理施設事務棟の新設により、古い事務棟から不要になった机等が発生(320kg)したためです。全量をリサイクルしました。
- ・ 2016年度の目標値は2015年度と同じ599kgとします。

### (6) 産業廃棄物の削減

- ・ 2016年2月の処理施設事務棟の新設により、古い事務棟から60kg発生しました。



### (7) グリーン購入率の向上（金額ベース）

- ・ 目標購入率20%に対し24.7%と目標値を上回りました。
- ・ グリーン対象商品の封筒の値下がり(18%)を受けて、新たに対象商品としました。

### (8) 3Rの推進

- ・ 「持出量の削減（処理委託量の削減）」をテーマとし、有機系汚泥残渣物の自社処理に向けた基本設計を終えました。
- ・ 2016年度は実施設計の完了から設備の設置を目指します。

### (9) 環境アセスの実施

- ・ 自社による「騒音」測定を汚泥処理施設で毎月1回行い、基準値を超える値は測定されませんでした。
- ・ 2016年7月から自社による汚泥処理施設の「臭気」測定を毎月1回始めました。東京都環境確保条例の悪臭の規制基準を遵守していることの確認を目的とします。

### (10) 地域貢献活動

- ・ 対象エリアを3区域に分けて毎月清掃を行い、地域の住民から好評を得ています。
- ・ 2016年度も同様に取り組みます。

### (11) 教育・説明会

- ・ 2016年4月に、昨年8月以降8か月間の活動実績を中間報告として行いました。残り4ヶ月間、環境活動に積極的に取り組むよう促しました。
- ・ 2016年度も同様に取り組みます。

### (12) カーボンオフセットへの取り組み

- ・ 2011年度以降、事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量の一部をカーボンオフセットしています。
- ・ バウンダリ（対象範囲）は、廃棄物処理工場の稼働、清掃維持管理、事務所、営業車両で使用したエネルギーから発生するCO<sub>2</sub>排出量とし、国内クレジットを行っています。
- ・ 2015年度はCO<sub>2</sub>排出量は315,538kg-CO<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>償却量は316,000kg-CO<sub>2</sub>でした。
- ・ 2016年度も同様に取り組みます。

## 7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

- (1)「環境法令等遵守チェックリスト」にもとづきチェックを行った結果、法律・条令について違反はありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・2015年度は重点目標を含めて各項目とも目標値を下回ることが出来ました。
- ・重点施策の軽油燃料消費量の削減は、前年に比べ路面清掃業務が半分の規模となったことも影響していますが、日常を通じたエコドライブへの各自の取組が奏功しているものと判断します。
- ・省エネ・省資源の中期計画は軽油燃料・電力共に未達で、二酸化炭素排出量削減も未達となりました。上水使用量削減は2014年度、2015年度共に達成しました。
- ・2016年度は単年度目標のみならず、中期計画目標にも可能な限り近づくよう活動して下さい。
- ・軽油燃料消費量の削減は、かねてから懸案となっていた業務量の増減の影響を受けにくい指標として、「燃費」による管理を2016年度から一部車両に限定して行うこととします。
- ・2016年度は重点施策を設けず、活動計画/目標達成のための具体的施策は前年とほぼ同様です。同じ活動を繰り返し行うことで、自身の行動の中に自然に組み込まれ、定着することを期待します。

## 9. 施設等の状況

### (1) 収集運搬車両の状況

車両の種類	積載量	台数	環境保全対策等	排ガス規制適合車	E C Oドライブ
吸引車	3t	2	密閉式タンク車	○	○
	4t	2			
	5t	1			
	8t	1			
	10t	3			
ダンプ車	2t	2	シート掛け等	○	○
	4t	1			
	10t	1			
トラック	2t	1			
アームロール車	4t	1	—		

### (2) 積替え保管施設の面積と保管上限量

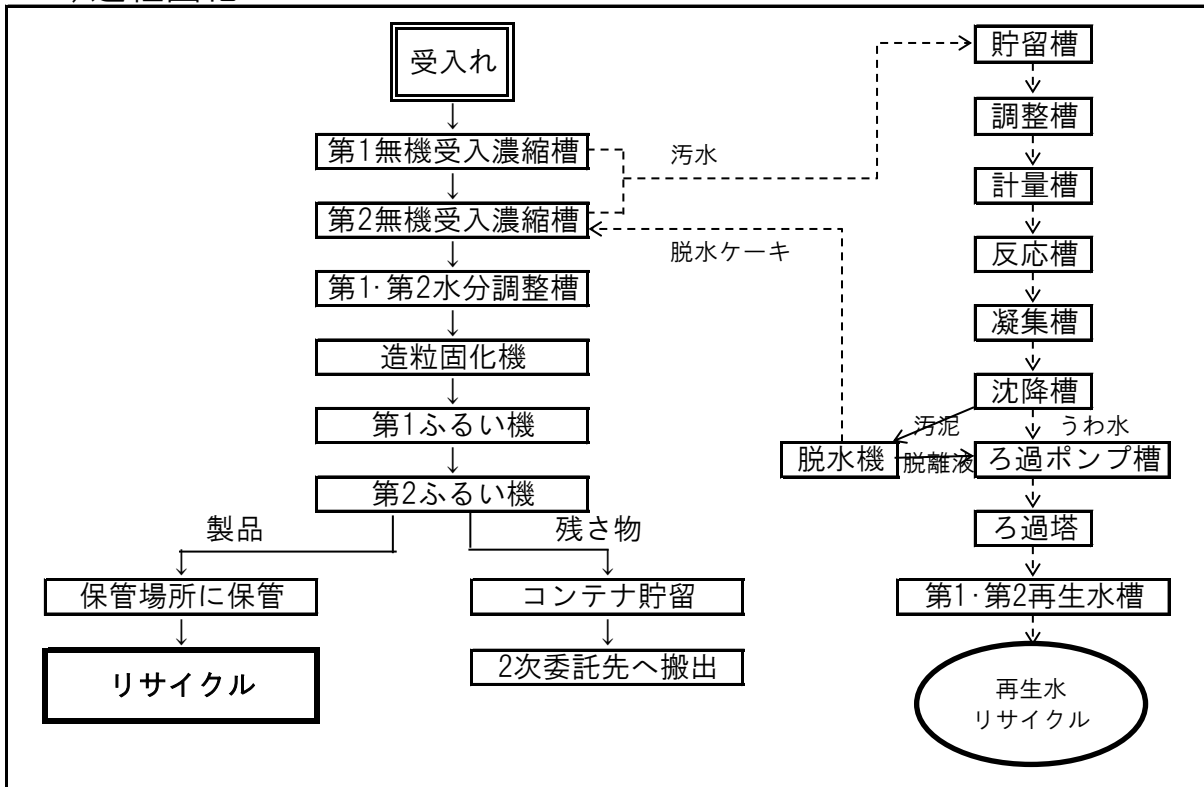
積替え保管施設の面積	保管上限量		
	3,842.21㎡	廃プラスチック類	8㎡コンテナ1個
紙くず		同上	8㎡
木くず		同上	8㎡
繊維くず		同上	8㎡
金属くず		同上	8㎡
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		同上	8㎡

### (3) 処理施設の種類の等

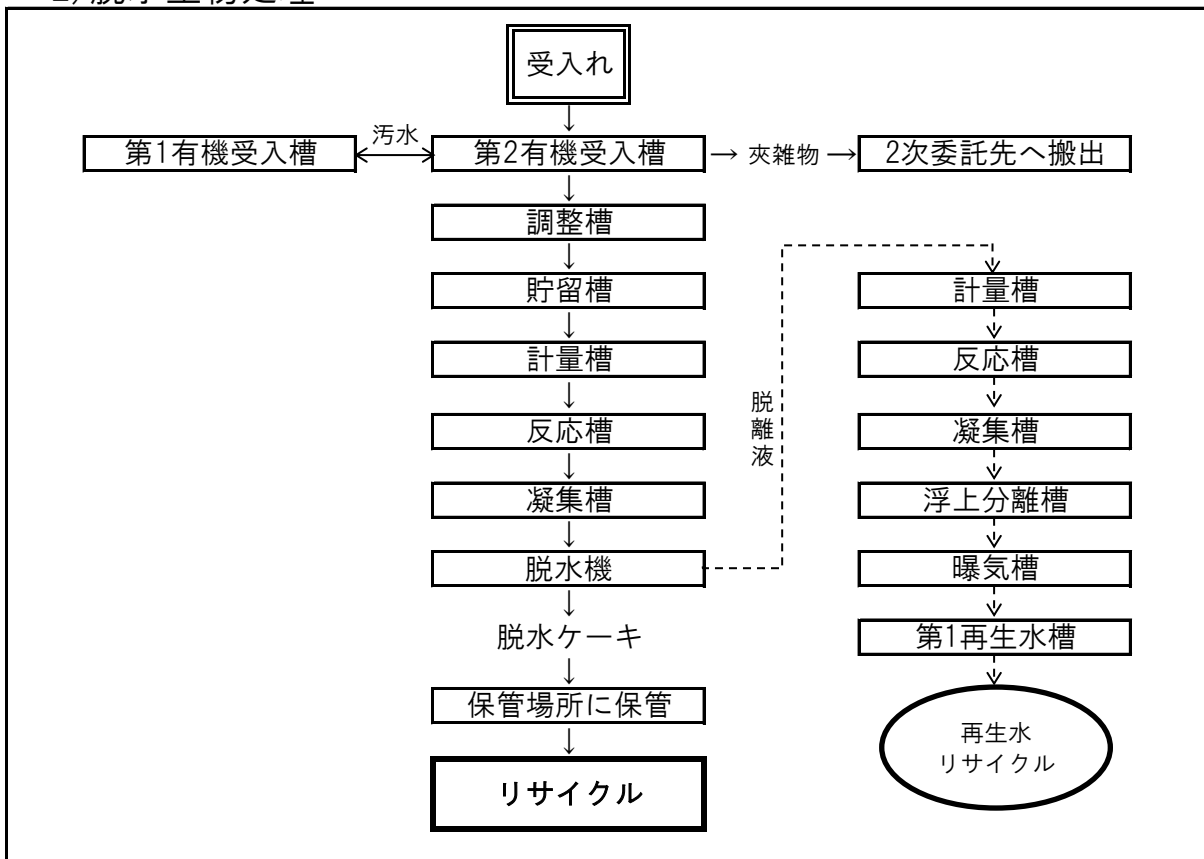
施設種類	産業廃棄物の種類	処理能力
造粒固化	汚泥（管渠清掃, 道路・公園等の清掃に係るものに限る）	240㎡/日
脱水生物処理	汚泥（有機性のものに限る）	8㎡/日
回転乾燥	汚泥（自社処理後のものに限る）	7.2㎡/日

#### (4) 処理工程図

##### 1) 造粒固化



##### 2) 脱水生物処理



(5) 処理実績/受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量t (8月～7月)			
				2013年 H25年	2014年 H26年	2015年 H27年	
産業 廃棄物	一般 廃棄物	(i) 収集運搬	し尿合計	870	904	600	
		(i) 収集運搬	廃プラスチック類		10	9	9
	紙くず			4	7	21	
	木くず			1	1	0	
	繊維くず			0	1	0	
	金属くず			2	4	4	
	ガラス他			0	4	89	
	廃油			119	122	90	
	汚泥			8,590	9,305	9,065	
	合計			8,726	9,453	9,278	
	(ii) 中間処理	内、 再資源化等	汚泥		11,233	9,279	10,831
			汚泥		6,224	5,919	6,216
		合計			11,233	9,279	10,831
	(iii) 最終処分	-			0	0	9
		合計			0	0	9
	(iv) 中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	汚泥	安定型最終処分 (委託)	273	350	477
			汚泥	管理型最終処分 (委託)	0	0	9
			小計			273	350
		再資源化等	汚泥	リサイクル 製品化	4,128	3,736	4,516
			汚泥(肥料用)	再資源化 (委託)	58	101	100
汚泥(コンクリート 固化用)			638		815	1,113	
廃プラスチック類			40		43	31	
木くず			321		286	228	
ガラス・がれき類			785	585	717		
小計			5,970	5,566	6,705		
合計			6,243	5,916	7,182		

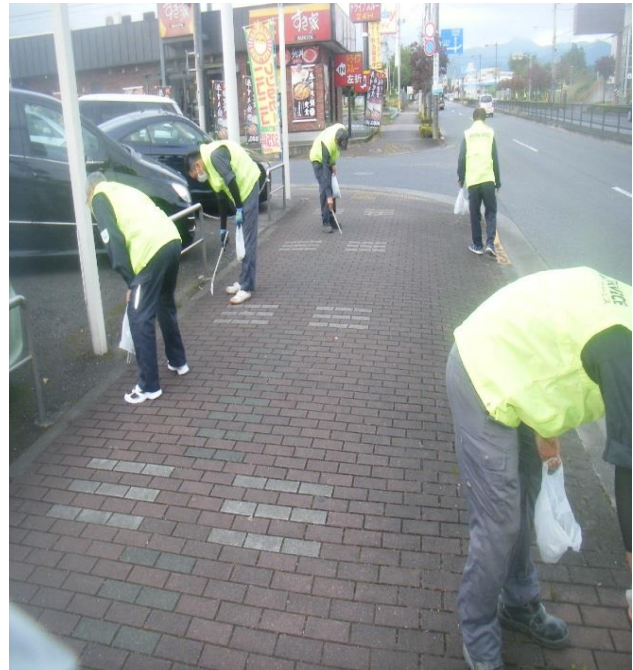
## 10. 環境活動の今

(a) 地球温暖化対策の状況を東京都に報告する「地球温暖化対策報告書制度」に取り組んでいます。

(b) 毎月行っている近隣の清掃活動の様子です。

(a)

(b)

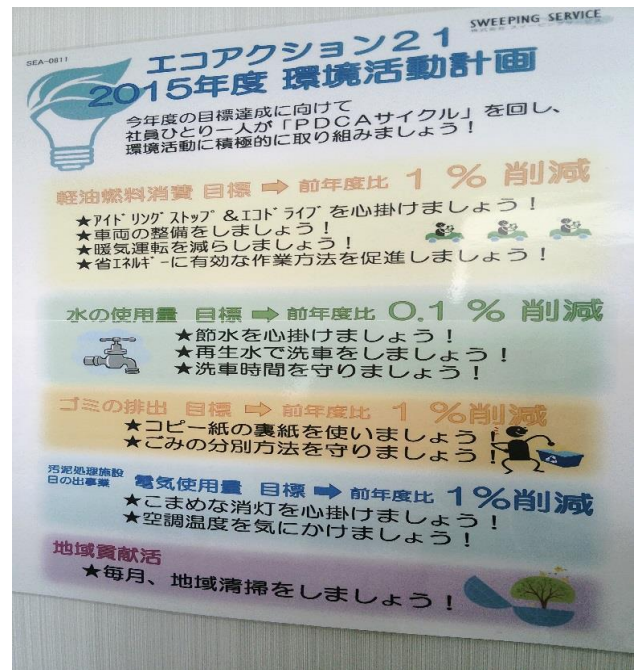


◎受付にエコアクション21の商標を掲示しています。

(d) 新設した台貫事務所でもエコアクション21への取り組みを呼びかけています。

(c)

(d)



## [ホームページ]

詳細な事業活動に関する内容は、下記のホームページに記載しています。

URL : <http://www.sweeping.co.jp>

## [連絡窓口]

当社の環境活動や本レポートへのご意見、ご質問等がございましたら、下記のエコアクション21事務局までご連絡ください。

エコアクション21事務局  
メールアドレス : [eco21@sweeping.co.jp](mailto:eco21@sweeping.co.jp)  
電話 : 042-597-6111      FAX. 042-597-6115